



▲出島表門橋架橋イメージ図

を有する職員を中心に、通信体制のあり方について協議を進めている。また、大規模災害発生時には、アマチュア無線の資格を持つ職員を動員することにより、情報収集体制をとるようになっている。

自由民主党

出島表門橋完成に向けての対応

問 平成28年は出島築造380年の年であり、新たに6棟の建物と表門橋が完成する。その際のセレモニーへのオランダ王室の招待や、オランダ国旗があった位置への旗竿の設置ができないか。また、出島へのオランダ大使館の一部機能の設置や、来場者増加対策として県庁舎跡地へのバス駐車場の確保ができないかお尋ねしたい。

答 平成28年には、オランダ王室を招き、セレモニー等多彩な企画を開催する方向で検討を進めていきたい。旗竿についても、今年度から発掘調査を実施し、設置に向けて取り組んでいく。

また、大使館機能の一部設置については、オランダ大使館の意向を伺い、関係機関と慎重に検討を行いたい。県庁舎跡地へのバス駐車場の設置については、県市の協議の場において提案を行っている。

新風会

公会堂廃止の再検討

問 市役所の建設ありきで、原爆復興、長崎文化のシンボルとして建設された公会堂を壊してよいのか。

答 公会堂は、長崎国際文化センター建設計画の一環として、国内外から多くの支援をいただき建設された点は認識しているが、公会堂は文化施設であり、さまざまな芸術文化の表現の場として十分な機能を備え、誰にとっても使いやすいホールであることを最優先



▲長崎市公会堂

にすべきであると考えていることから、外観を残しての改修では、建物の構造上、出演者や観客等が満足するような機能を十分に満たすことができない。

そのため、公会堂を廃止し、新たな文化施設によって機能を確保するという結論に至った。建設当時の国際文化都市としての長崎の発展を願う精神は、新たな文化施設へと形を変えながらも、しっかりと未来へ引き継いでいくことが重要であると考えている。

長崎市民会議

MICE施設整備

問 本市のMICE事業について、県選出国會議員から否定的な意見が出されているが、市長が直接説明すべきではないか。また、JR貨物との土地取得交渉にあたり、売却をお願いする文書を提出する際には、議会に説明すべきではなかったか。さらに、相手方から課税特例を受けるよう求められているようだが、課税特例を受けた分を差し引いた価格に見直す考えはないのか。

答 当該議員にはこれまで直接説明した経緯はあるが、今後も機会を捉えて説明していきたい。また、昨年11月議会で「JR貨物と交渉を進めている」旨を答弁し、その際、文書でお願いしたことは説明していなかったが、答弁で触れなかったことに他意はなかった。

土地の価格については、市の意向に沿った用地の売却であるため、ほかの公共事業と同じ取り扱いをしてほしいというJR貨物からの要望に応じるものである。

自由クラブ

子ども・子育て支援新制度における放課後児童クラブの取り組み

問 子ども・子育て関連3法の成立に基づき平成27年度からスタートする子ども・子育て支援新制度の実施により、放課後児童クラブは充実されるのか。また、どのような点が変わるとなり、本市がどのように取り組むのかを伺いたい。

答 子ども・子育て支援新制度の実施主体は、地域のニーズを反映できるような基礎自治体である市町村となっている。これまで国のガイドライン等に基づき、設置運営基準を定め、各放課後児童クラブに対し支援をしてきたが、これからは、国の省令で定める基準を踏まえ、市町村が条例で基準を定めることとなった。

この条例において、施設の面積、従事する職員の資格や配置、児童の集団の規模等といった設備及び運営の基準について定めることとしている。今後は本市が積極的に関わり、量の拡充とともに、質の向上も図っていきたい。